

Ⅲ 教科ごとの調査結果とその分析

国 語

(1) 結果の概要

- 教科正答率は、小・中学校共に全ての学年で「おおむね達成」の基準を上回っている。

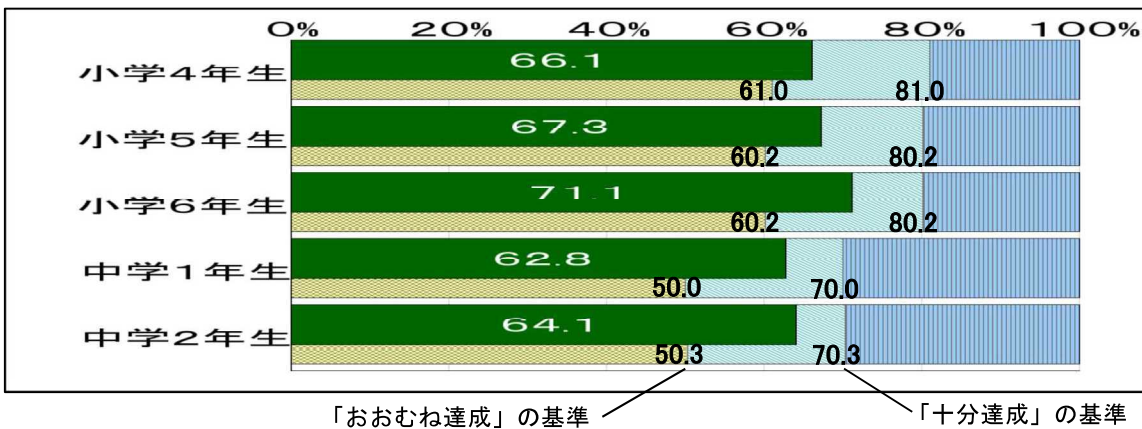
[グラフ1]

- 「活用」に関する問題については、小学5年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ2]

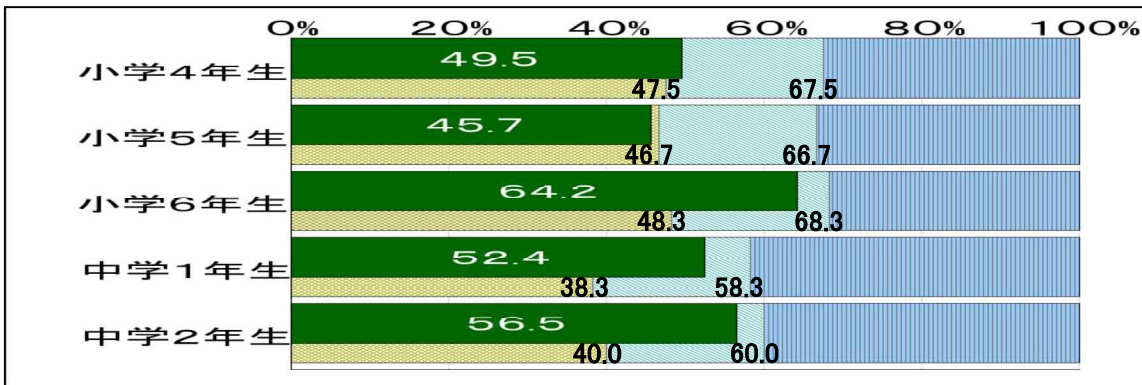
- 観点別に見ると、小学6年生と中学2年生は、全ての観点で「おおむね達成」の基準を上回っている。「話す・聞く能力」、「書く能力」、「知識・理解・技能」については、小・中学校共に全ての学年で「おおむね達成」の基準を上回っている。特に、「書く能力」については、中学1年生と中学2年生で「十分達成」の基準を上回っている。「読む能力」については、小学4年生と小学5年生、中学1年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ3～6]

- 内容・領域別に見ると、「漢字の読み」については、小・中学校共に全ての学年で「十分達成」の基準を上回っている。「漢字の書き」については、小学5年生と小学6年生、中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。「語句に関する知識」については、小学5年生で「十分達成」を上回っており、小学4年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ7～11]

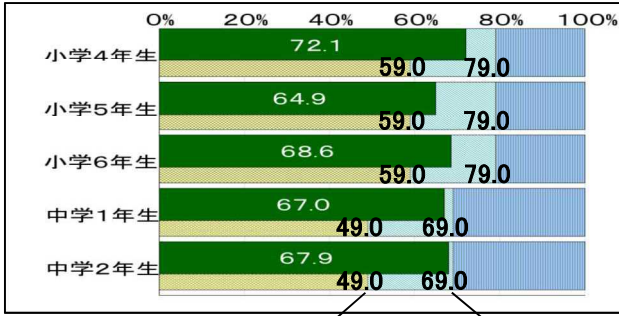
[グラフ1]国語 教科正答率



[グラフ2]国語 「活用」に関する問題の正答率

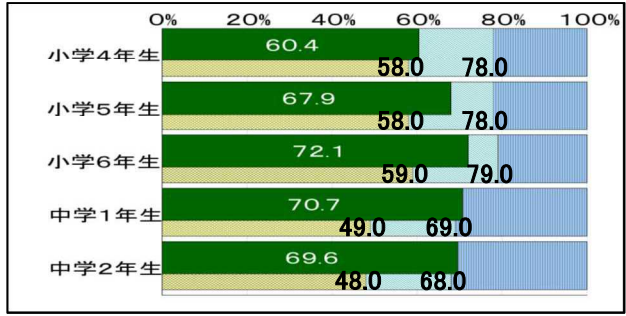


[グラフ3] 国語「話す・聞く能力」観点の正答率

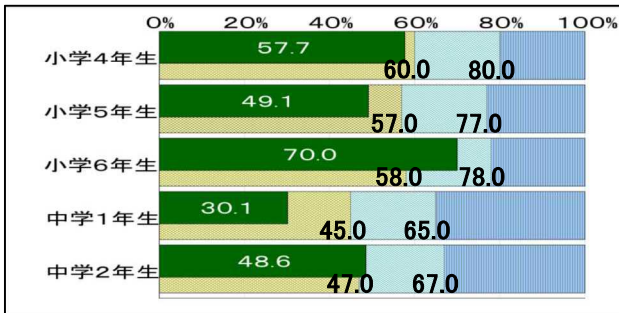


「おおむね達成」の基準 「十分達成」の基準

[グラフ4] 国語「書く能力」観点の正答率



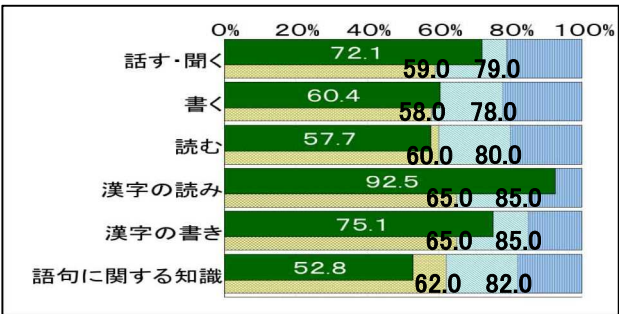
[グラフ5] 国語「読む能力」観点の正答率



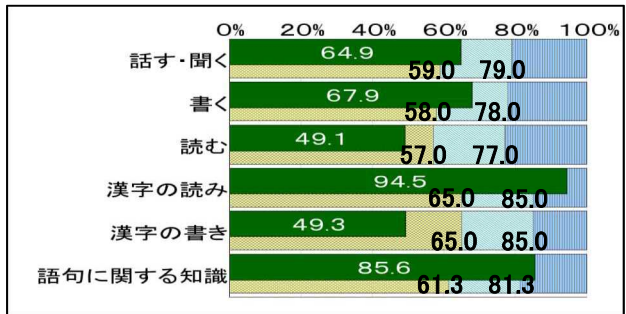
[グラフ6] 国語「知識・理解・技能」観点の正答率



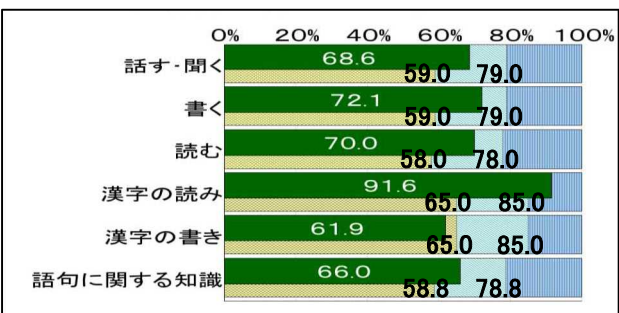
[グラフ7] 小学4年生 内容・領域別正答率



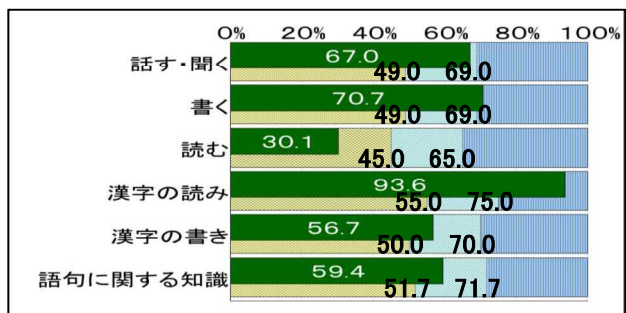
[グラフ8] 小学5年生 内容・領域別正答率



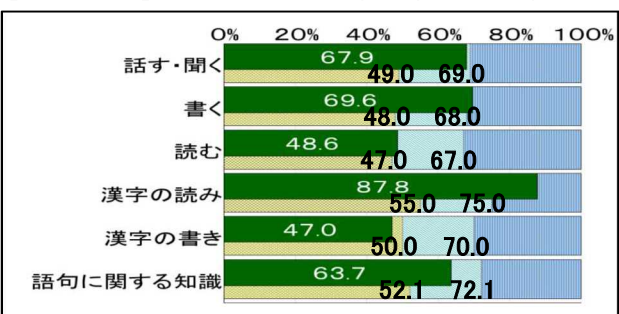
[グラフ9] 小学6年生 内容・領域別正答率



[グラフ10] 中学1年生 内容・領域別正答率



[グラフ11] 中学2年生 内容・領域別正答率



(2) 成果と課題及び指導改善のポイント

小学校国語（小学4年生、小学5年生、小学6年生）

成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 互いの考えの共通点や相違点を捉えて話し合ったり、話の意図や目的を考えて聞いたりすることができている。
(小学4年生¹四、小学5年生¹三)
- ◇ 目的や意図に応じて、取材の内容を考えたり、事実と意見を区別して書いたりすることができている。
(小学5年生³四、小学6年生³四)
- ◇ 文脈に即して漢字を正しく読むことができている。
(小学4年生⁵一、小学5年生⁶一、小学6年生⁶一)
- ◆ 1 立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合うことに課題が見られる。
(小学5年生²一、小学6年生²一)
- ◆ 2 目的や必要に応じて、書こうとすることの中心を明確にしたり、理由や事例を挙げたりして書くことに課題が見られる。
(小学4年生²二、小学5年生³五)
- ◆ 3 登場人物の会話に即して読んだり、優れた叙述に着目して自分の考えをまとめたりすることに課題が見られる。
(小学4年生³二、小学5年生⁴二)

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆ 1 立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合う力を育成するためには、グループや学級全体の話し合い活動で、次のような指導を行うことが大切です。
 - グループや学級全体での共通理解や問題解決に向けて、意見を出し合い一つにまとめていく「協議」や互いの考えの違いを大事にしながら多くの考えを関係付ける「討論」などの活動を言語活動として設定していますか。
 - 協議や討論のモデルを示すなどして、児童が話し合いの仕方を理解できるような指導を行い、実際に協議や討論をする活動を単元の中に設定するようにしていますか。
 - 児童が、司会などの役割を理解できるようにし、話し合いの規模に応じて児童一人一人がそれぞれの役割を果たすような経験ができる機会を設けるようにしていますか。
 - 話し合い活動のあとに、自分の発言や友達の発言を振り返る時間を設けていますか。
- ◆ 2 書こうとすることの中心を明確にしたり、目的や必要に応じて、理由や事例を挙げたりして書く力を育成するためには、書く活動で、次のような指導を行うことが大切です。
 - 児童がもった課題について調べさせ、意見を記述した文章や活動を報告した文章を書くような言語活動を設定していますか。
 - 理由や事例を挙げて書く際は、「なぜかという～」、「～のためである」、「例えば～」、「～などが当たる」などの表現を使って書くように指導していますか。
 - 自分の考えを明確に表しているか、表現の曖昧さはないかなど、自分が書いた文章を児童自身が推敲する活動を設定していますか。
 - 書いた文章などを児童がお互いに読み合ったり、表現の仕方について助言し合ったり、よいところを見つけて感想を伝え合ったりするような活動を設定していますか。
- ◆ 3 登場人物の会話に即して読んだり、優れた叙述に着目して自分の考えをまとめたりする力を育成するためには、文学的な文章を解釈する活動で、次のような指導を行うことが大切です。
 - 文学的な文章を読み、感想を述べ合うような言語活動を設定するようにしていますか。
 - 場面ごとに読ませるのではなく、物語全体に描かれた行動や会話に関わる複数の叙述を関連付けて登場人物の気持ちの変化や性格を想像させるようにしていますか。
 - 学習した教材と同じ作者や同じ題材の作品を比べ読みできるようにするなど、児童が日常的に文学的な文章に触れることができるように教室環境を整えていますか。



他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

中学校国語（中学1年生、中学2年生）

成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 多様な語句について理解を深め、語句や語彙を正しく使うことができている。
(中学1年生⁵四、中学2年生⁵四12)
- ◇ 全体と部分の関係に注意して話したり、異なる立場や考えを想定して話したりすることができる。
(中学1年生¹四、中学2年生¹一)
- ◆1 歴史的仮名遣いについて理解したり、現代語訳を手掛かりにして作品の内容を理解したりすることに一部課題が見られる。
(中学1年生⁵六1、中学2年生⁵六12)
- ◆2 描写から行動の理由を読み取ったり、自分の考えをまとめるための根拠を明確にしたりすることに課題が見られる。
(中学1年生⁴一、中学校2年生⁴二)
- ◆3 表現や描写の特徴を捉え自分の考えをもったり、情報と関連付けながら読んだりすることに一部課題が見られる。
(中学1年生³三⁴二、中学2年生⁴四)

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆1 歴史的仮名遣いについて理解したり、現代語訳を手掛かりにして作品の内容を理解したりする力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 古典の文章を繰り返し音読し、文語のきまりを理解できるようにしていますか。
 - 古典に描かれている情景や登場人物の心情を想像するなど具体的な目的をもたせ、現代語訳や語注、解説した文章などを手掛かりにして、古典を読み進めることができるようにしていますか。
 - 「兼好法師にとっての仁和寺とは？ 法師の足取りを本文と資料を重ねて読み取り、仁和寺観光ガイド（鎌倉時代版）を作ろう。」というような古典を学習する面白さや必然性を感じさせる学習課題の設定ができていますか。
- ◆2 描写から行動の理由を読み取ったり、自分の考えをまとめるための根拠を明確にしたりする力を育成するためには、内容を把握し文章を解釈する過程で、次のような指導を行うことが大切です。
 - 登場人物の言動がどのような心情に基づくものかを、心情描写だけではなく、会話や他の行動、情景などの描写に注意して読み進めながら、考えることができるようにしていますか。
 - 生徒が、描写について考えを交流する場面で、互いの考えについて「なぜ～」のように理由や根拠を問うことができるようにしていますか。また、理由や根拠だけではなく、考えについて、どのようにして、その考えに至ったのか、本当にその考えは正しいのか、例えばどのような具体例があるのかなどを問い、考えを深めることができるようにしていますか。
- ◆3 表現の特徴を捉え自分の考えをもったり、情報と関連付けながら読んだりする力を育成するためには、文章を解釈し自分の考えをもつ過程で、次のような指導を行うことが大切です。
 - 表現技法などの基礎的な知識をまとめたワークシートをファイリングするなどして、生徒がいつも参照することができるようにしていますか。
 - 「指導事項」「言語活動」「単元の中心となる思考操作」を明示した学習課題を設定し、生徒が自分の問いをもって読み進めることができるようにしていますか。
 - 複数の教材を読み比べたり、教材と図表などを関連付けながら読んだりする活動を授業に位置付けていますか。



他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

(3) 各学年の設問ごとの正答率

[表 1] 小学校4年生 国語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,405	66.1	1.7	81.0	61.0	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	話す・聞く	5	72.1	1.1	79.0	59.0	
	書く	5	60.4	2.1	78.0	58.0	
	読む	5	57.7	1.2	80.0	60.0	▼
	漢字の読み	3	92.5	1.4	85.0	65.0	◎
	漢字の書き	3	75.1	3.5	85.0	65.0	
	語句に関する知識	5	52.8	1.5	82.0	62.0	▼
評価の観点	①話す・聞く	5	72.1	1.1	79.0	59.0	
	②書く	5	60.4	2.1	78.0	58.0	
	③読む	5	57.7	1.2	80.0	60.0	▼
	④知識・理解・技能	11	69.7	2.0	83.6	63.6	
問題形式	選択式	16	59.7	1.0	81.3	61.3	▼
	短答式	8	83.0	2.4	83.8	63.8	
	記述式	2	49.5	4.6	67.5	47.5	
活用	「活用」に関する問題	2	49.5	4.6	67.5	47.5	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む					④知識・理解・技能	十分達成	
1	一	理由を挙げながら話す	○					○					77.9	0.3	85	65	
1	二	適切な言葉遣いで話す	○					○		○			79.9	1.0	80	60	
1	三	司会の役割を理解し、話し合いを進める	○					○					65.0	0.3	80	60	
1	四	互いの考えの共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合う	○					○					81.5	0.4	80	60	◎
1	五	話の中心に気を付けて聞き、分からない点や確かめたい点を質問する	○					○			○	○	56.0	3.5	70	50	
2	一	目的に応じて、内容の中心を明確にして見出しを書く	○					○					82.2	0.3	85	65	
2	二	書こうとすることの中心を明確にするために、理由や事例を挙げて書く	○					○					38.9	0.4	80	60	▼
2	三	考えを明確に記述しているか検討する	○					○					56.9	0.6	80	60	▼
2	四	文末表現の使い方に注意して、よりよい表現に書き直す	○					○		○			80.9	3.5	80	60	◎
2	五	メモを基に、書こうとすることの中心を明確にして文章を書く	○					○			○	○	43.1	5.7	65	45	▼
3	一	叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読む	○					○					73.6	0.7	80	60	
3	二	登場人物の会話に即しながら読む	○					○					54.1	1.0	80	60	▼
4	一	中心となる文を捉える	○					○					64.5	1.1	80	60	
4	二	要点に注意して読む	○					○					81.9	1.4	80	60	◎

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む	④知識・理解・技能	選択式				短答式	十分達成	
4	三	事実と意見を区別して読む		○					○		○			14.7	1.7	80	60	▼
5	一1	文脈に即して漢字を正しく読む「温める」			○				○		○			97.4	0.7	85	65	◎
5	一2	文脈に即して漢字を正しく読む「敗れる」			○				○		○			88.1	1.9	85	65	◎
5	一3	文脈に即して漢字を正しく読む「親切」			○				○		○			92.1	1.6	85	65	◎
5	二1	文脈に即して漢字を正しく書く「転がす」				○			○		○			74.7	5.5	85	65	
5	二2	文脈に即して漢字を正しく書く「湖」				○			○		○			63.0	2.9	85	65	▼
5	二3	文脈に即して漢字を正しく書く「足首」				○			○		○			87.6	2.2	85	65	◎
5	三1	主語と述語の関係を理解する					○		○		○			81.8	1.2	85	65	
5	三2	主語と述語の関係を理解する					○		○		○			66.9	1.4	85	65	
5	四	国語辞典の使い方を理解する					○		○		○			22.2	1.2	80	60	▼
5	五1	修飾と被修飾の関係を理解する					○		○		○			70.9	1.8	80	60	
5	五2	修飾と被修飾の関係を理解する					○		○		○			22.5	1.9	80	60	▼

[表2] 小学校5年生 国語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,287	67.3	4.5	80.2	60.2	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	話す・聞く	5	64.9	1.4	79.0	59.0	
	書く	5	67.9	2.7	78.0	58.0	
	読む	5	49.1	7.9	77.0	57.0	▼
	漢字の読み	3	94.5	1.8	85.0	65.0	◎
	漢字の書き	3	49.3	11.7	85.0	65.0	▼
	語句に関する知識	4	85.6	3.2	81.3	61.3	◎
評価の観点	①話す・聞く	5	64.9	1.4	79.0	59.0	
	②書く	5	67.9	2.7	78.0	58.0	
	③読む	5	49.1	7.9	77.0	57.0	▼
	④知識・理解・技能	10	77.4	5.3	83.5	63.5	
問題形式	選択式	12	72.1	1.8	81.3	61.3	
	短答式	10	68.0	6.5	83.0	63.0	
	記述式	3	45.7	9.0	66.7	46.7	▼
活用	「活用」に関する問題	3	45.7	9.0	66.7	46.7	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む					④知識・理解・技能	十分達成	
1	一	収集した知識や情報を関係付けて自分の考えに生かす	○					○					80.7	1.0	80	60	◎
1	二	事柄が明確に伝わるように、話の構成を工夫する	○					○					61.5	0.5	85	65	▼
1	三	話の意図や目的を考えながら聞き、自分の考えをまとめる	○					○					83.2	0.6	80	60	◎
2	一	立場や意図をはっきりさせ、話合いを計画的に進める	○					○					49.0	0.5	85	65	▼
2	二	自分の立場や意図を明確にしながら話し合う	○					○			○	○	50.0	4.3	65	45	
3	一	文章をよりよい表現に書き直す	○					○			○		56.6	2.5	85	65	▼
3	二	具体的な絵や写真などを取り上げて事例を説明する	○					○					75.2	0.7	80	60	
3	三	目的や意図に応じて、記事に見出しを付ける	○					○					80.5	0.9	80	60	◎
3	四	事実と自分の感想、意見などを区別して書く	○					○					85.6	1.0	80	60	◎
3	五	メモを基に、書こうとすることの中心を明確にして文章を書く	○					○			○	○	41.6	8.4	65	45	▼
4	一	場面の描写を捉える	○					○			○		57.0	8.6	80	60	▼
4	二	優れた叙述に着目して、自分の考えをまとめる	○					○			○	○	45.6	14.3	70	50	▼
5	一	段落相互の関係を捉える	○					○			○		58.7	3.1	75	55	
5	二	事実と意見とを区別して読む	○					○			○		20.1	4.7	80	60	▼

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む	④知識・理解・技能	選択式				短答式	十分達成	
5	三	文章の要旨を捉え、表現の仕方に合わせてまとめる		○					○		○		64.2	8.6	80	60		
6	一1	文脈に即して漢字を正しく読む「治る」			○				○		○		97.0	1.6	85	65	◎	
6	一2	文脈に即して漢字を正しく読む「囲まれる」			○				○		○		97.4	1.4	85	65	◎	
6	一3	文脈に即して漢字を正しく読む「石炭」			○				○		○		89.0	2.5	85	65	◎	
6	二1	文脈に即して漢字を正しく書く「球根」				○			○		○		32.4	17.2	85	65	▼	
6	二2	文脈に即して漢字を正しく書く「停電」				○			○		○		34.8	11.8	85	65	▼	
6	二3	文脈に即して漢字を正しく書く「弟」				○			○		○		80.8	6.0	85	65		
6	三1	同音・同訓の漢字を正しく使う「送」					○		○		○		95.1	2.3	85	65	◎	
6	三2	同音・同訓の漢字を正しく使う「想」					○		○		○		95.8	2.5	85	65	◎	
6	四	漢字辞典の使い方を理解する					○		○		○		80.3	3.3	80	60	◎	
6	五	文の構造を見て、二文に分ける					○		○		○		71.2	4.8	75	55		

[表3] 小学校6年生 国語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,104	71.1	2.4	80.2	60.2	

分類・区分集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	話す・聞く	5	68.6	0.9	79.0	59.0	
	書く	5	72.1	1.9	79.0	59.0	
	読む	5	70.0	2.0	78.0	58.0	
	漢字の読み	3	91.6	0.9	85.0	65.0	◎
	漢字の書き	3	61.9	6.4	85.0	65.0	▼
	語句に関する知識	4	66.0	3.5	78.8	58.8	
評価の観点	①話す・聞く	5	68.6	0.9	79.0	59.0	
	②書く	5	72.1	1.9	79.0	59.0	
	③読む	5	70.0	2.0	78.0	58.0	
	④知識・理解・技能	10	72.4	3.6	82.5	62.5	
問題形式	選択式	11	75.5	0.8	82.7	62.7	
	短答式	10	72.2	3.5	82.0	62.0	
	記述式	4	56.2	3.8	68.8	48.8	
活用	「活用」に関する問題	3	64.2	2.1	68.3	48.3	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況	
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む					④知識・理解・技能	十分達成		おおむね達成
1	一	話の内容に関心をもち、自分の感想や意見を述べながら聞く	○					○						80.9	0.1	85	65	
1	二	目的や意図に応じて、インタビューの構成を工夫する	○					○						74.9	0.1	80	60	
1	三	聞いた事柄を基に、自分の考えを整理して質問する	○					○			○	○		67.4	1.4	70	50	
2	一	意図を明確にしなが、計画的に話し合う	○					○						60.8	0.1	85	65	▼
2	二	発言内容を簡潔にまとめ、話し合いを計画に沿って進める	○					○			○			58.9	2.6	75	55	
3	一	文末表現の使い方に注意して、よりよい表現に書き直す	○					○						72.1	2.0	85	65	
3	二	自分の考えを明確に表しているかどうか、表現の効果などについて確かめる	○					○						83.2	0.2	85	65	
3	三	事実と意見を区別して書く	○					○						72.3	0.5	85	65	
3	四	目的や意図に応じて、取材の内容を考える	○					○			○			78.8	3.4	75	55	◎
3	五	目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書く	○					○			○	○		54.1	3.2	65	45	
4	一	登場人物の心情を捉える	○					○						82.2	0.5	85	65	
4	二	場面の描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめる	○					○			○	○		71.0	1.7	70	50	◎
5	一	文章の要旨を捉える	○					○						63.9	0.8	80	60	
5	二	文章の内容を的確に捉える	○					○						80.6	1.0	80	60	◎

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む	④知識・理解・技能	選択式				短答式	十分達成	
5	三	文章の重要な点を、表現の仕方に合わせてまとめる		○					○		○		52.2	5.7	75	55	▼	
6	一1	文脈に即して漢字を正しく読む「肥料」			○				○		○		98.5	0.5	85	65	◎	
6	一2	文脈に即して漢字を正しく読む「養う」			○				○		○		78.8	1.6	85	65		
6	一3	文脈に即して漢字を正しく読む「祭り」			○				○		○		97.5	0.5	85	65	◎	
6	二1	文脈に即して漢字を正しく書く「黒板」				○			○		○		90.9	1.8	85	65	◎	
6	二2	文脈に即して漢字を正しく書く「清潔」				○			○		○		64.4	5.8	85	65	▼	
6	二3	文脈に即して漢字を正しく書く「仕える」				○			○		○		30.3	11.5	85	65	▼	
6	三1	熟語の構成を理解する					○		○		○		79.1	1.4	85	65		
6	三2	熟語の構成を理解する					○		○		○		62.8	1.7	80	60		
6	四	慣用句の意味を理解して使う					○		○		○		32.1	8.7	70	50	▼	
6	五	国語辞典の使い方を理解する					○		○		○		89.9	2.3	80	60	◎	

[表4] 中学校1年生 国語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,026	62.8	7.1	70.0	50.0	

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	話す・聞く	5	67.0	5.6	69.0	49.0	
	書く	5	70.7	2.3	69.0	49.0	◎
	読む	5	30.1	15.0	65.0	45.0	▼
	漢字の読み	5	93.6	1.0	75.0	55.0	◎
	漢字の書き	5	56.7	14.2	70.0	50.0	
	語句に関する知識	6	59.4	4.8	71.7	51.7	
評価の観点	①話す・聞く	5	67.0	5.6	69.0	49.0	
	②書く	5	70.7	2.3	69.0	49.0	◎
	③読む	5	30.1	15.0	65.0	45.0	▼
	④知識・理解・技能	16	69.3	6.5	72.2	52.2	
問題形式	選択式	8	73.7	1.8	72.5	52.5	◎
	短答式	18	61.0	8.4	71.1	51.1	
	記述式	5	52.1	10.6	62.0	42.0	
活用	「活用」に関する問題	3	52.4	13.6	58.3	38.3	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む					④知識・理解・技能	十分達成	
1	一	日常生活の中から話題を決める	○					○			○		95.2	0.1	75	55	◎
1	二	全体と部分に気を付けて内容を整理し、話すためのメモを構成する	○					○			○		42.4	6.0	70	50	▼
1	三	相手に分かりやすい語句を使って話す	○					○			○		56.9	7.8	70	50	
1	四	全体と部分の関係に注意して話す	○					○			○		73.4	5.3	70	50	◎
1	五	必要に応じて質問する	○					○			○	○	66.9	8.6	60	40	◎
2	一	集めた材料を使って自分の考えをまとめる	○					○			○		91.4	0.8	75	55	◎
2	二	書いた文章を読み返し、叙述の仕方を確かめて分かりやすい文章にする	○					○			○		63.7	2.5	70	50	
2	三	段落の役割と内容を考えて文章を構成する	○					○			○	○	57.0	6.6	60	40	
2	四	伝えたい事柄についての根拠を明確にして書く	○					○			○		84.6	0.7	70	50	◎
2	五	書いた文章を読み合い、題材の捉え方や材料の用い方について意見を述べる	○					○			○		56.7	0.9	70	50	
3	一	文脈の中における語句の意味を理解する	○					○			○		16.9	18.1	70	50	▼
3	二	文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分ける	○					○			○		24.7	20.9	65	45	▼
3	三	表現の特徴を捉える	○					○			○		45.8	3.2	70	50	▼
4	一	描写から行動の理由を読み取る	○					○			○		29.6	7.1	65	45	▼

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	①話す・聞く	②書く	③読む	④知識・理解・技能	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
4	二	作品の描写の特徴を捉え、自分の考えをもつ		○				○			○	○	33.4	25.6	55	35	▼	
5	一1	文脈に即して漢字を正しく読む(訓読みの漢字)「座る」			○			○					98.7	0.5	75	55	◎	
5	一2	文脈に即して漢字を正しく読む(訓読みの漢字)「抱えきれぬ」			○			○					84.4	1.7	75	55	◎	
5	一3	文脈に即して漢字を正しく読む(音読みの熟語)「郵便」			○			○					98.3	0.6	75	55	◎	
5	一4	文脈に即して漢字を正しく読む(音読みの熟語)「全般」			○			○					89.3	1.5	75	55	◎	
5	一5	文脈に即して漢字を正しく読む(熟字訓)「真っ青」			○			○					97.6	0.6	75	55	◎	
5	二1	文脈に即して漢字を正しく書く(訓読みの漢字)「預ける」				○		○					57.8	9.4	70	50		
5	二2	文脈に即して漢字を正しく書く(訓読みの漢字)「耕す」				○		○					65.1	18.2	70	50		
5	二3	文脈に即して漢字を正しく書く(音読みの熟語)「展覧」				○		○					41.7	15.7	70	50	▼	
5	二4	文脈に即して漢字を正しく書く(音読みの熟語)「貿易」				○		○					71.9	9.2	70	50	◎	
5	二5	文脈に即して漢字を正しく書く(音読みの熟語)「就職」				○		○					47.2	18.5	70	50	▼	
5	三	文節について理解する				○		○					56.3	5.0	70	50		
5	四	多様な語句について理解を深める				○		○					86.5	1.2	70	50	◎	
5	五	文字の大きさ、配列などについて理解して書く				○		○					82.9	1.8	75	55	◎	
5	六1	歴史的仮名遣いについて理解する				○		○					34.5	9.2	70	50	▼	
5	六2	古文のおおよその内容を理解する				○		○					49.9	5.7	70	50	▼	
5	六3	文語のきまりを踏まえて古文を読み、古典の世界に触れる				○		○		○			46.2	5.8	75	55	▼	

[表5] 中学校2年生 国語 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

県	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,058	64.1	6.4	70.3	50.3	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	話す・聞く	5	67.9	4.2	69.0	49.0	
	書く	5	69.6	4.4	68.0	48.0	◎
	読む	5	48.6	10.8	67.0	47.0	
	漢字の読み	5	87.8	1.3	75.0	55.0	◎
	漢字の書き	5	47.0	14.9	70.0	50.0	▼
	語句に関する知識	7	63.7	4.0	72.1	52.1	
評価の観点	①話す・聞く	5	67.9	4.2	69.0	49.0	
	②書く	5	69.6	4.4	68.0	48.0	◎
	③読む	5	48.6	10.8	67.0	47.0	
	④知識・理解・技能	17	65.9	6.4	72.4	52.4	
問題形式	選択式	11	66.3	1.7	71.8	51.8	
	短答式	15	63.9	8.9	72.0	52.0	
	記述式	6	60.4	9.2	63.3	43.3	
活用	「活用」に関する問題	4	56.5	10.8	60.0	40.0	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況	
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む					④知識・理解・技能	十分達成		おおむね達成
1	一	異なる立場や考えを想定して話す	○					○				○	○	78.6	5.4	65	45	◎
1	二	資料を効果的に活用して話す	○					○				○		61.1	6.3	70	50	
1	三	相手に分かりやすく話す	○					○					92.2	0.4	75	55	◎	
1	四	話の論理的な構成や展開などに注意して話す	○					○					65.4	0.5	75	55		
1	五	話の材料を多様な方法で集め、整理する	○					○				○	○	42.2	8.6	60	40	
2	一	具体例を加えて書く	○					○					75.3	5.4	70	50	◎	
2	二	事実が相手に効果的に伝わるように工夫して書く	○					○					87.2	1.0	70	50	◎	
2	三	書いた文章を読み返し、構成を整え、分かりやすくする	○					○					46.2	2.4	75	55	▼	
3	一	自分の伝えたいことを明確にする	○					○				○		76.7	7.0	65	45	◎
3	二	文章の構成について工夫する	○					○				○	○	62.8	6.6	60	40	◎
4	一	登場人物の描写を注意して読み、作品中の役割を理解する	○					○					55.0	1.8	65	45		
4	二	自分の考えをまとめるための根拠を明確にする	○					○				○		33.7	22.7	70	50	▼
4	三	心情を表す語句に注意して読む	○					○					33.8	2.5	70	50	▼	
4	四	情報と関連付けながら読む	○					○				○	○	42.3	22.9	55	35	

設問別集計結果

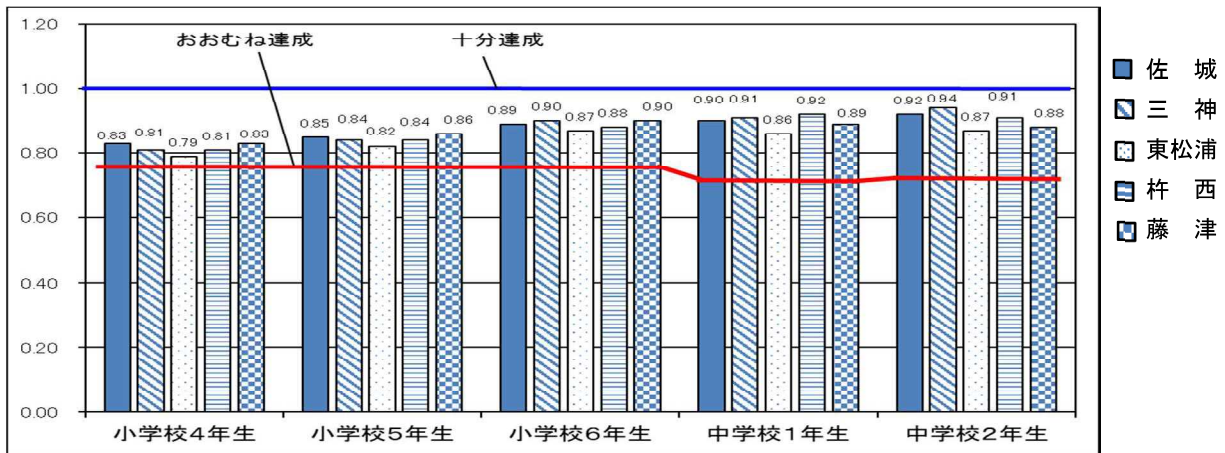
問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		話す・聞く	書く	読む	漢字の読み	漢字の書き	語句に関する知識	①話す・聞く	②書く	③読む	④知識・理解・技能	選択式				短答式	記述式	
4	五	集めた情報について真偽を見極める		○					○		○			78.3	4.1	75	55	◎
5	一1	文脈に即して漢字を正しく読む(音読みの熟語)「産卵」			○				○		○			96.8	0.9	75	55	◎
5	一2	文脈に即して漢字を正しく読む(訓読みの漢字)「探る」			○				○		○			98.6	0.5	75	55	◎
5	一3	文脈に即して漢字を正しく読む(音読みの熟語)「納得」			○				○		○			98.9	0.5	75	55	◎
5	一4	文脈に即して漢字を正しく読む(訓読みの漢字)「提げる」			○				○		○			72.7	1.8	75	55	
5	一5	文脈に即して漢字を正しく読む(音読みの熟語)「申告」			○				○		○			72.1	2.8	75	55	
5	二1	文脈に即して漢字を正しく書く(音読みの熟語)「米穀」				○			○		○			20.6	19.7	70	50	▼
5	二2	文脈に即して漢字を正しく書く(訓読みの漢字)「傷み」				○			○		○			30.9	11.8	70	50	▼
5	二3	文脈に即して漢字を正しく書く(音読みの熟語)「貧困」				○			○		○			42.5	29.9	70	50	▼
5	二4	文脈に即して漢字を正しく書く(訓読みの漢字)「危ない」				○			○		○			87.3	6.7	70	50	◎
5	二5	文脈に即して漢字を正しく書く(音読みの熟語)「週刊」				○			○		○			53.6	6.5	70	50	
5	三	単語の類別について理解する				○			○		○			34.3	2.1	70	50	▼
5	四1	文脈の中で語句や語彙を正しく使う「開ける」				○			○		○			96.5	0.9	70	50	◎
5	四2	文脈の中で語句や語彙を正しく使う「治める」				○			○		○			81.2	1.0	70	50	◎
5	五	漢字の行書の基礎的な書き方を理解する				○			○		○			59.5	1.9	75	55	
5	六1	現代語訳を手掛かりにして作品の内容を理解する				○			○		○			54.0	7.8	70	50	
5	六2	歴史的仮名遣いについて理解する				○			○		○			54.1	5.0	75	55	▼
5	六3	古典に表れたものの見方に触れ、筆者の思いを想像する				○			○		○			65.8	9.2	75	55	

(4) 地域別の状況

- 県内5地域における学年別平均正答率の「十分達成」に対する状況は、全ての学年で5地域とも「おおむね達成」の基準に達している。[グラフ12]
- 県内5地域における学年別平均正答率の対県比は[表6]のとおりで、中学校1年生と中学校2年生で地域差が最も大きい。また、4月調査と比べて小学校5年生と小学校6年生で地域差が縮小し、中学校1年生で地域差が拡大している。

[グラフ12] 県内5地域における学年別平均正答率の「十分達成」に対する状況

※ 各学年における「十分達成」の到達基準を1.00として算出



[表6] 県内5地域における学年別平均正答率の対県比

学年・教科	実施年度	対県比(地域平均正答率/県平均正答率)					地域差
		佐城	三神	東松浦	杵西	藤津	
小学校4年生	H29[12月]	1.01	0.99	0.97	1.00	1.02	0.05
	H29[4月]	-	-	-	-	-	-
小学校5年生	H29[12月]	1.01	1.00	0.98	1.00	1.02	縮 0.04
	H29[4月]	1.03	0.97	0.95	1.00	1.06	▲ 0.11
小学校6年生	H29[12月]	1.00	1.02	0.98	0.99	1.02	縮 0.04
	H29[4月]	1.01	1.02	0.96	0.98	1.02	0.06
中学校1年生	H29[12月]	1.00	1.02	0.95	1.02	0.99	拡 0.07
	H29[4月]	1.00	1.02	0.97	1.01	0.99	0.05
中学校2年生	H29[12月]	1.01	1.03	0.96	1.00	0.97	0.07
	H29[4月]	1.00	1.02	0.97	1.01	0.95	0.07

※ 「対県比」は、県平均正答率を1.00として算出

※ 「地域差」は、対県比の最大値と最小値の差を表す

※ 「▲」は、地域差が0.10以上の教科を示す

※ 「縮」は、平成29年度[4月調査]より地域差が縮小した教科を、「拡」は拡大した教科を示す

※ 地域及び市町名

地域名	市町名
佐城	佐賀市、多久市、小城市
三神	鳥栖市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、みやき町、上峰町
東松浦	唐津市、玄海町
杵西	武雄市、伊万里市、白石町、大町町、江北町、有田町
藤津	鹿島市、嬉野市、太良町